

企業ホームページ

情報開示が求められている現在、多くの企業が自社のホームページなどで情報発信をしています。

まず、気を付けたいのは、企業名とブランドの違いと、親会社と子会社（グループ会社）の関係です。たとえば、「ユニクロ」は「株式会社ファーストリテイリング」という会社のブランド名です。「セブンイレブン」と「LOFT」は、同じ「株式会社セブン&アイ・ホールディングス」グループです。グループ企業の情報は、グループを統括する企業のHPで公開される傾向があります。

情報公開は、政府機関、市区町村、大学のような非営利団体や業界団体などにも広がっています。もちろん「甲南大学」の情報も、「学校法人甲南学園」が公開しています。



【チェックしておきたい項目】

●経営方針・沿革・事業内容

就職活動でエントリーするのなら、企業の経営方針は覚えるくらいに読み込みましょう。

大手企業であれば、グループ会社や子会社、持っているブランドなども要チェックです。重要な企業との協力関係（アライアンス）も押さえておきたい事項です。

多くの企業はリスクを分散させるため、多角的な経営を行っています。事業内容からどんな事業を行っていて、どの事業に力をいれているかを確認し、社会情勢と照らし合わせて考えてみてください。グローバル企業なら、どこの国との取引が多いかも調べてみましょう。

●IR情報

IR（Investor Relations）情報とは、投資家に向けて企業が発信する情報です。一般的に経営方針やトップからのメッセージ、売り上げ等のデータ、有価証券報告書、株式情報などが公開されています。データを月次で公開する企業も少なくありません。

●CSRレポート

大企業であるほど、社会や環境に与える影響や、ステークホルダー（株主、顧客、従業員など、利害関係のある人々）への影響が大きくなります。そのため、各企業は、利益の追求だけでなく、倫理的にも社会に貢献する責任があります。これを、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）といいます。

CSRレポートには、企業のボランティア活動についてだけでなく、コンプライアンス（法令順守）や行動指針、人権に関する方針など、従業員の福利に関わる事項も多く記載されています。最近では、SDGs（持続可能な開発目標）を掲げ、「サステナビリティ（Sustainability）」としてこれらの取り組みが発信されることもあります。

eol（有価証券報告書）

「有価証券報告書」と各企業が開示した書類、株価などの企業情報データベース。有価証券報告書は金融庁のHPからも公開されていますが、eolには、各項目へのリンクや全文検索、同業他社比較など、初心者にも便利な機能があります。

1. 企業名で検索した結果（サマリー画面）

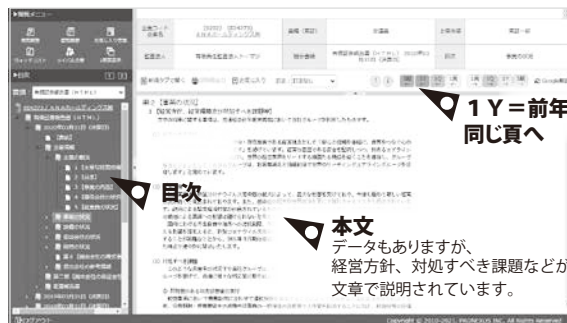


基本情報

最新版有価証券報告書の各項目へのリンク

同業他社比較

2. 有価証券報告書画面



1Y=前年の同じ頁へ

目次

本文データもありますが、経営方針、対処すべき課題などが文章で説明されています。

エントリーシートに使えます！

電子図書館・就活特設コーナー

就職活動の対策本や、業界・企業研究に活用できるデータベースや電子ジャーナルをまとめたコーナーです。



ですが、どうでしょう。
*卒業生の利用については、HPの利用案内を参照してください。

■無料のコンテンツはありませんか。

確かに、業界・企業情報は有料のコンテンツが多く、しかも高額です。ですが、無料コンテンツも数多くあります。「業界情報」「企業情報」といったキーワードで検索できますが、誰がいつどこから集めた情報かに注意してください。

おすすめは金融機関のレポートです。銀行が行った様々な調査が、各銀行のHPで公開されています。

また、各業界団体のHPからも情報発信されていることがあります。たとえば、製パン業界には「日本パン工業会」という団体があり、パンの生産動向や食の安全への取り組みなどが公開されています。

② 企業情報

各企業の業務内容や業績、関連企業情報を調査できるデータベースの使い方をご案内します。

データベースを学外から利用するには

『日経テレコン』など、甲南大学限定のデータベースや電子書籍・電子ジャーナルは、「VPN 接続」を利用すると、学外からも利用できます。▶P.8
『甲南学園情報システム室』HP の「サービス案内」の「VPN 接続」からアクセスしてください。ID/PW は『MyKONAN』と同じです。
・図書館 HP の情報検索データベース一覧で、VPN と記載されているもののみ利用できます。

日経テレコン - 企業検索

企業検索メニューから、日本国内の上場企業と一部の非上場企業が調査できます。各企業の情報がほぼ同じ様式で表示されるため、複数の企業を容易に比較できます。日経テレコンからは、他にもマクロ経済統計や POS ランキングなどのデータを取得できます。

1. 日経テレコン>企業検索



2. 企業名で検索し、「見出しを表示」



3. 「日経会社プロフィール」を選択



4. 企業情報画面

基礎情報
会社名は正確に!

沿革
海外進出の時期や経営統合など

事業内容
経営の多角化の状況

財務諸表
資産と負債のバランスを確認

業績推移
過去5年間の業績変動が大きいときは、その理由を調べてみよう。

関係会社
子会社や出資企業など

項目	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月
売上高	1,213,457	1,794,147	1,765,259	1,971,700	2,058,312
経常利益	67,129	130,723	143,375	150,536	176,581
営業利益	39,235	78,169	93,827	143,897	110,777

※【連結】=グループ全体(子会社を含む)

■本には本の使い道

速さ重視のビジネス情報は、どうしてもインターネットに頼りがちですが、本を使う方が便利な時もあります。

特徴的なビジネスモデルを持つ企業であれば、そのノウハウを紹介する本が出版されることがよくあります。会社の歴史を研究するなら「社史」は欠かせません。蔵書検索システムで社名や業界名を入れて検索してみてください。

また、PCや文章力、敬語の使い方など、スキル向上や資格の取得を目指すなら、体系的に学べる本を使った方が効率的です。図書館にも、こうした自己啓発に関する本がありますが、じっくり勉強するならば、自分に投資することも検討してみてください。

■卒業したら使えない？

データベースは学内者限定なので卒業したら全部使えなくなる、わけではありません。一部のデータベースは甲南大学図書館に直接訪問すれば利用できます。また、ヘルプデスクは卒業生も利用でき、オンラインでも相談可能です。

ビジネス支援を行っている公共図書館は全国にありますし、国立国会図書館も利用できます。重要な案件の準備のために図書館で調査、というスタイルがあつていい、と思うの